



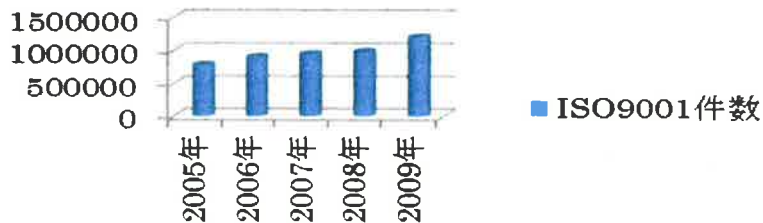
DAS-JAPAN NEWS

第3号：2011年1月7日

世界のISO 認証取得件数が公表される！

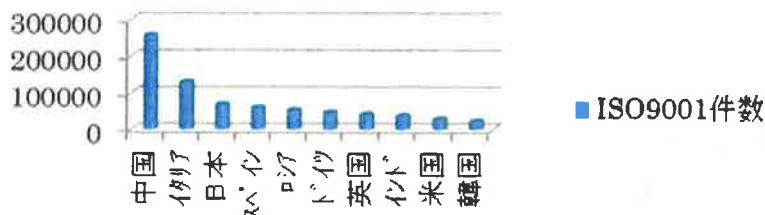
(出典 IAF のHP 2009 年末)

世界のISO9001件数



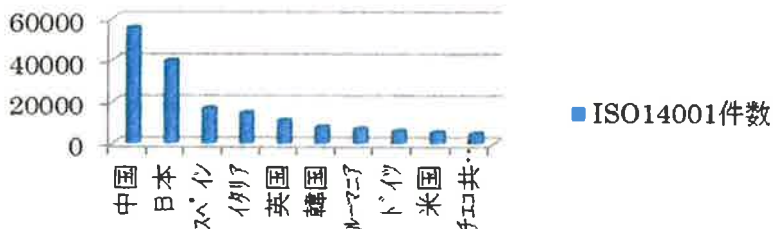
年1回ISO本部から公表されている。この件数は認証書の発行枚数をいい、1枚の認証書に複数サイトが登録されていても、1件とカウントされる。

国別ISO9001件数

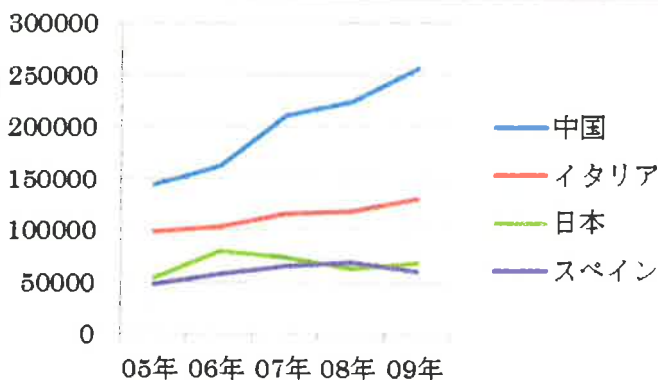


かつて日本はダントツの件数だったが、数年前から中国とイタリアに越されてしまった。企業数が多い米国が伸びていないのは不思議だが、もともと形式にはこだわらない国柄か。

ISO14001件数



こちらも日本はダントツだったが、やはり中国に越されてしまった。環境先進国のドイツが伸びていない理由も定かではないが、環境は自己宣言が許されているのでその影響か。



ISO 認証取得件数の推移 (ISO9001)

中国やイタリアは順調に登録件数を増やしているが、我が国は逆に減少傾向にある。これはリーマンショックによる世界同時不況と、公共工事の減少なども関係しているといわれている。



その他の国際規格

ISO9001 や ISO14001 以外には、ISO27001 (情報セキュリティ)、ISO22000 (食品安全)、ISO13485 (医療機器) などが世界的に広まりつつあります。ISO27001 の登録件数については世界で伸びが著しく 2009 年度末で 13000 件ほどで、前年度比 3700 件も増えています。中でも日本はダントツで①日本 (5500) ②インド(1240)③英国 (950) ④台湾(940)⑤スペイン (480) ⑥中国 (460) ⑦ルーマニア (300) となります。一方 ISO22000 (食品安全) も世界で 14000 件ほどで、①中国 (3340) ②トルコ (1130) ③ギリシャ (990) ④インド (950) ⑤台湾 (810) ⑥ルーマニア (660) ⑦ポーランド (550) の順位となり、残念ながら日本は 10 位以内に入っておりません。ここでも 1 位の中国は、この 3 年あまりで件数が 9 倍に伸びているようです。

DAS ジャパンから

代表の萩原が環境に関する講演！

昨年末に東京商工会議所台東支部から代表の萩原に「現代の環境問題と事業者との関わり」に関する講演依頼があり、下記の要領で実施することになりました。今や地球温暖化をはじめとする環境問題は、世界の共通テーマとして大いに関心をもたれていますが、中小の事業者にとってはいったいどう対応すべきなのかいろいろ悩むところです。当日はこのあたりを中心に具体的な話がなされるそうで楽しみです。認証組織の皆様も、お時間があればどうぞご参加ください。

開催日時:2011年3月2日(水) 14:00~16:00

講演者 :萩原陸幸(DAS ジャパン代表取締役)

主催 :東京商工会議所台東支部

コンサルからの脱却

審査を通じて感じるのは、当初コンサルタントにお願いして構築したシステムにいつまでもこだわっている企業が少なからずあることです。当初構築したシステムは完璧でしょうか？

たいていのコンサルタントは、ISO の要求事項はそれなりに理解しているかもしれませんが、御社の業務については素人同然です。であれば、当初のシステムが御社の理想とするものであるはずはありません。某企業はコンサルの途中でコンサルタントと意見が合わず、途中から自力で構築したそうです。

まさにそれが本物のシステムではないでしょうか？

さてシステムを改善するためには、システムの不都合箇所を発見することが大前提になります。

そのためには、まず目の前のシステムを忠実に実行してみることで、何らかの不具合や欠陥を発見できます。どうか当初のシステムにこだわらず、大いに改善を実行しましょう。

(編集責任者 萩原由利)



ISO 認証機関 DAS ジャパン株式会社
東京都豊島区東池袋 4-27-5 LP 池袋 903
代表取締役 萩原陸幸
Tel 03-6666-0501 Fax 03-6666-0594